

R6 地域こん談会まとめ

案件番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	千代川町自治会	○JR千代川駅自由通路の整備について ①来年度に工事着手と聞いていたが、現在の実施設計等の進捗状況はどうか。 ②JR千代川駅への乗降客の接続について、遠回りになる等、課題があるが、その後の検討はどうか。 ③駅舎の改築及び上下線ホームの屋根の整備について、その後、JR西日本との協議はどうか。	1.千代川駅自由通路については、令和3年度から基本設計を行っており、設計を進める中で関係機関との協議も行い、令和5年度に基本設計を終えています。実施設計については、JR西日本の鉄道運行及び鉄道施設との関係上、JR西日本において実施されることになるため、昨年度から基本設計の進捗に合わせてJR西日本とも協議を行っており、その協議を進める中で、実施設計は、今年度の秋に市とJR西日本で協定を締結し、その後、JR西日本において実施設計を進め、完了するのは令和7年度になる見込みであることを示されています。また、工事は、令和7年度からJR電気施設移設工事に着手する予定です。今後もJR西日本と協議を行い、また、財源確保のために府等に必要な事業費見合いの交付金がいただけるよう要望を行うなど、スムーズな事業進捗が図れるように取り組んでいきます。 2.自由通路は、JR軌道敷を挟んだ東西両側のまちの分断を解消する目的で整備するため、直接駅のホームへアクセスする通路はないことから、駅利用の方には不便さを感じられることがあると思われますが、自由通路から改札口への動線を出来る限り最短距離となるよう階段形状などについて検討するとともに、動線となる広場にも可能な範囲で屋根を設置、また、自由通路にはエレベーターを設置し、東側広場にはトイレを新設するなど、駅利用者の利便性に考慮した整備が図れるよう検討していきたいと考えています。 3.駅舎の改築及び上下線ホームの屋根の整備については、自由通路整備に係わるJR西日本との協議の際にもJR西日本に要望を行っていますが、前向きな回答を得るには至っていない状況です。しかし、今後も自由通路整備に係わる協議において、継続してJR西日本と要望するとともに、千代川駅整備促進協議会と連携してJR西日本に要望していきたいと考えています。	まちづくり推進部長	1.①実施 2.③検討 3.④要望	①現在はJR西日本と協定を締結し、JR西日本において実施設計の実施に向けて取り組まれています。 ②、③こん談会時の回答のとおりです。
	千代川町自治会	【質問等】 千代川駅は、バリアフリー化が進んでいない。車椅子や子育て世代の市民が快適に使用できず、他の遠方の駅を利用する市民もいることから、早期に取り組んでほしい。	できるだけ早期に工事着手し、早期完成できるようJRと協議して参りたいと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

2	千代川町自治会	川の駅「亀岡水辺公園」について、当初の建設計画の実現が見えてこない。 ①当初目的の「船下り」について、「航路確保が難しい」とか、「議論を前に進めることが困難」「前向きに検討」棟の回答をいただいているが、京都府、漁業組合等と今日までどのように協議されたのか。 ②観光協会、商工会議所、湯の花温泉組合等との連携については、「不可欠である」との回答をいただいたが、今日まで関係者協議をどのようにされたか。 ③車いす・ベビーカーで河川敷へ降りるスロープについて、河川法が課題だと常に言われているが、本施設の当初計画は京都府であり、当施設、当公園は京都府管理である。堤防を削ることなく手すりをつける等、大掛かりな河川改修を実施しなくても可能と考えるが、京都府と今後の協議はどうか。 ④対岸の月読橋球技場と、広い河川敷を利用した駐車場、キャンプ場や渡し船及び船の搬入路として、一体的な有効利用、整備が必要と考えるが、活用策はどうか。	①川の駅「亀岡水辺公園」から船下りを行うためには、現状の川の形状から考えると、重機を使った浚渫や川作等により航路を確保することが不可欠であります。これらの作業を行うことは、現状では非常に困難です。亀岡市としては、改めて、現在の状況を踏まえた上で、今後の方向性について、京都府とともに協議していきたいと考えています。 ②観光協会や湯の花温泉等各種団体との連携を図る中で、川の駅・亀岡水辺公園において、保津川の「歴史文化」や「自然環境」を学ぶ場として、環境学習やデイキャンプ、バーベキューの利用も含めて、水辺アクティビティを体験できるようになれば、市内外からも多くの方々に利用いただけるものと考えています。こうした本市特有の観光ツーリズムと循環型の「持続可能な川・観光地」を目指すコンテンツについて、各種団体と連携した取組を進めていきます。 ③河川区域を管理する京都府からは、その流域面積を確保する必要があり、河川側堤防敷に前出しした形での手すりやスロープの設置は不可能な状況と聞いています。そのため、堤防を削る形でしか対応できないところであり、今後、京都府において河川改修が予定される際には、その対応も含めて整備・改修いただけるよう要望していきたいと考えています。これまで要望は行っていますが、堤防の工事については、大きな予算がかかると聞いています。予算の問題もありますが、簡易的なスロープを設置等についても京都府との協議を進めます。 ④川の駅 亀岡水辺公園については、対岸エリアを一体的に活用することができれば、川東地区との双方にとって相乗効果が出て、非常に有意義な賑わいスポットになると考えられます。一方で、治水上の観点から、川の形状も含めて慎重に検討していく必要があるとも考えていますので、関係機関や関係者とも意見交換をする中で、このエリアを一体として利活用が図れるよう協議していきます。自治会、京都府振興局、亀岡市が協議できる場を早急に儲けさせていただきたいと考えています。	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
	千代川町自治会	【質問等】 以前より要望しているが、水辺公園の南側の旧自動車学校付近の溝について、過去に溝にはまってけがをした人もいることから溝をふさぐ等の整備を行ってほしい。	河川区域において占用許可を得た市道の道路側溝でありますので、京都府と協議しながら、溝蓋の設置を検討します。	市長 (まちづくり推進部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

3	千代川町自治会	千々川改修(高野林工区)については、いよいよ難所であるR9号千々川橋の架け替え工事着手へと進めていただいている。 現橋梁架け替えの迂回路の方向性等について、自治会において京都国道事務所と南丹土木事務所から説明を受けたが、用地買収協議の進捗状況や工事の着手時期等はどのようなになっているのか。	令和6年3月7日に、千代川町自治会において京都国道事務所及び南丹土木事務所が「千々川橋改修事業に関する役員説明会」を実施されました。 その後の進捗状況ですが、現在、京都国道事務所と京都府で事業協定締結に向け、負担割合や役割分担等について協議をされています。また、工事を進める上で、迂回路が必要になるため、地元役員への説明結果を踏まえ、京都国道事務所において迂回路のルートを検討されています。 今後の予定としては、国が橋梁及び迂回路の詳細設計を実施し、京都府が用地測量等を実施した後、用地交渉に入ることになります。 用地交渉等、様々な課題が出てくると思いますが、事業を円滑に進めていくため、地元自治会の皆様にも、お力添えを頂きますようよろしくお願いします。	まちづくり推進部長	②実施予定	こん談会時の回答のとおりです。
	千代川町自治会	【質問等】 予算等も伴う為、具体的な工事着工時期は判明していないと思うが、何年先になるのか、目標等をお聞きしたい。地元として用地の確保に協力する。	工事の着工期間については、用地買収がありますので、明確な時期は公表されませんが、できるだけ早期に着工できるよう京都府へ要望していきます。	まちづくり推進部長	④要望	9月19日に京都府に対して要望活動を実施しました。

R6 地域こん談会まとめ

4	千代川町自治会	国営ほ場整備事業について ◎千代川工区については5月17日に起工式が行われ、槌音高く工事が始まった。 ①拝田区内の文化財調査にて検出された古墳の対応による課題換地原案同意が得られているが、保存されるとなると原案の取り直し、今後の管理はどうなるのか。 ②拝田新池改修の方向性はどのような進捗状況になっているか。 令和4年1月19日提出の農業用ため池改修要望に対しての進捗状況はどのようになっているか。昨年の台風や梅雨時の集中豪雨等による決壊の恐れがあり防災面でも危険ため池として心配である。京都縦貫道開通に伴う減反や、農業用水面では圃場整備に伴い、北ノ庄・千原との地区整理による管理面積の減少等により、負担が大きくなっている。 ③警備員等の工事用車両の誘導案内がやや不十分で通学路等の安全対策が不安との声があるが、指導いただきたい。 ◎桂川西工区の進捗状況はどのようになっているか。 ④犬飼川及び願成寺川にかかる橋梁工事及び圃場整備の進捗状況及び完成予定。	①国営緊急農地再編整備事業(千代川工区)については、地元関係者の協力によって、換地計画原案の同意徴集が完了したことから、ほ場整備工事に着手されました。工事着手までには埋蔵文化財調査を実施しており、拝田区内で発掘された拝田14号墳については、令和6年2月14日に現地説明会が開催されたところでした。 拝田14号墳の取扱い結果からは、ほ場整備事業区域に影響が及びますので、現在、関係機関によって協議・調整を行っています。今後の方向性等が決まりましたら、千代川町国営ほ場整備推進協議会を通じて報告させていただきます。 ②拝田新池の老朽化・脆弱化による改修地元要望に伴い、令和3年度に拝田新池の調査測量設計業務委託を実施したところ、この調査測量の結果からは、受益農地としての面積が非常に少ないことが判明したところでした。 当初は、ほ場整備事業前の従前地で受益面積を考慮していたところですが、受益の大半が国営ほ場整備事業千代川工区の区域内であり、ほ場整備事業の用水計画では拝田新池の受益面積は3ha未満になる状況です。 ため池改修事業の地元負担率については、受益面積が10ha以上であれば府営事業として実施可能となり地元負担率は1%、受益面積が10ha未満ですと市営事業となり地元負担率は10%となります。 ため池改修事業の事業費はおよそ2億円掛かると想定されることから、今後の事業において地元負担が大きな課題になってくると認識しているところです。 拝田新池については、現在国営ほ場整備事業を実施している区域の上流に位置するため、ほ場整備完了後の農道を利用しないと工事実施出来ない箇所もあります。ほ場整備完了までには期間もかかることから今後、防災上の観点を含めたため池改修の事業手法等について京都府等とも協議連携を図りながら取り組んでいきたいと考えています。 ③現在、ほ場整備工事を進めており、工事車両の誘導や歩行者の安全確保等には、警備員をつけて対応していますが、更に十分な安全対策に努めるよう、事業主体から請負業者へ指導を徹底してもらいます。 ④犬飼川及び願成寺川にかかる橋梁工事については、橋梁の土台となる下部工の工事が完成しており、橋梁本体となる上部工につきましても工事発注され、別の工場において橋梁部の製作が完了しました。 今後、工場製作が完了した橋梁上部工の搬入を行い、現地において設置することになり、現在の計画では、令和8年3月の完成を予定しています。 ほ場整備工事の進捗については、全体面積68haの内下流域にあたる13haにおいて工事が完成しています。また、16ヘクタールにおいて工事施工中であります。今後も、随時工事発注を進めていきますが、高野林・小林地域の範囲については、令和8年度末の完成に向けて取組んでいく計画です。	産業観光部長	1:③検討 2:⑥その他 3,4:①実施	こん談会時の回答のとおりです。
	千代川町自治会	【質問等】 国道9号の築路拡幅について、拡幅工事をしないと千代川町千原が豪雨の時に浸水してしまう。 土地区画整理事業については、市が所管される幹線排水路の接続工事のため、事業期間の延長等が余儀なくされている。接続工事の具体的な時期を示していただき、亀岡市にも支援をいただきたい。	関係機関と調整対応していきます。 この件が土地区画整理事業に影響を及ぼしている事を認識していますので、国とも対応を進めていきます。工事予算については国にも要望等を行い、対応していきます。	産業観光部長	①実施	国予算要望を令和6年7月30日に行いました。

R6 地域こん談会まとめ

5	千代川町自治会	消防団員の確保及び処遇について ①区長会・纏会を始めいろんな場で消防団員確保の協議をしているが難しい。 市においても新入団員確保のため対策を講じているが、成果はあるのか。 ②千代川分団は2部5班54名が所属しているが、火災や災害、訓練時、実働できるのは34名程度で4割程度は活動できていない。新入団員確保が難しく定数確保のため、やむなく在籍するが、説得しても年末警戒や出初式等にも参加しない、在籍するだけの団員が多い。しかし、報酬や退団時退職金は個人支給となっているとの事で、一生懸命活動している団員が矛盾を感じることもある。 現在、団員が友人や後輩に入団をお願いする旧態依然とした勧誘しかできておらず苦慮している。 地域を守ろうと意欲のある責任感のある若者に入団してもらうためにどのようにすればいいのか。	現在、本市における消防団員数は、定数900名に対し、67名欠員の実員833名です。充足率につきましては、令和5年に全国が86.7%であるのに対し、92.5%の団員確保ができています。 団員数については、年々減少傾向にはありますが、新入団員確保のため、消防団の活動状況を亀岡市公式ホームページ等に掲載することで消防団の必要性をアピールするとともに、入団促進ポスターやパンフレットの配布等、地元自治会、消防団OB・OG等の皆様の御協力をいただきながら、団員確保に努めています。 亀岡市については、消防団員の処遇を改善し、加入促進を図るため、団員報酬や活動いただいた団員への出勤報酬の引き上げを国が定める基準に合わせられるよう、段階的に引き上げています。 団員の皆様のご苦勞は、報酬だけで賄うことはできませんが、ご協力いただけるよう、一緒に考えていきたいと思っています。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
	千代川町自治会	【質問等】 消防団員の報酬について個人振込みであり、活動に來ない団員であっても口座の登録さえすれば、毎年報酬が入る状況になっている。そのため、団員内で不公平という意見が多数出ている。また、団員の年齢層が高齡化してきており、消防団を辞められないが故に団歴25年を超過する団員も増えてきていることから、欠員を出してでも辞められる状況を作らないといけないのではないかと考える。	他の地域からも消防団の団員確保について質問がありました。消防団の勧誘に行った際、親が断るケースもあり、苦勞を強いる消防総合大会の開催を止めてはどうかという意見がありました。しかし地域で火災等が起こった際に一番最初に駆け付けられることができるのは消防団であり、消防団の待遇改善を亀岡市として取り組んでいきたいと思っています。 報酬の不公平感については、どのようなやり方が必要か検討します。例えば出勤状況を各分団に管理、報告してもらい、その報告を基に対価として報酬を支払う事も可能であると考えます。消防団員の高齡化に伴う欠員等については、定員の見直し等を検討していきます。	市長 (総務部長)	③検討	今後の報酬の支払い方法や定員については、今後検討いたします。
6ー1	千代川町自治会	子どもと高齡者の居場所づくりについて ①開発公園等小規模の公園はあるが、子ども達が伸び伸びとボール遊びが出来る公園がでない。小学校のグラウンドも放課後児童クラブで使用できるスペースも少ないので、ぜひ、公園整備をお願いしたい。	①千代川町内では、現在、亀岡市高野林・小林土地区画整理組合の管轄内に、3つの公園を計画しています。そのうち1つは平地部分が1,400㎡あります。しかしこの公園については、調整地となっているため、桂川西工区の排水路が完成しないと公園整備も進まないところですので、この件も含めて対応等進めていきます。	全国都市緑化フェア担当部長	①実施	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

6-2	千代川町自治会	子どもと高齢者の居場所づくりについて ②児童登下校時の見守り活動を強力に推進してほしい。民生児童委員として低学年、高学年の下校時間を一定伝え、最近になってしてもらえ方が少しずつ出てきた。亀岡市としても具体的な活動時間を市民に周知していただきたい。 ③地域子ども出迎えデーの拡大推進をしてほしい。	②「地域子ども出迎えデー」の取り組みについては、児童・生徒の下校時刻にあわせて、地域の方々が家の外に出て花の水やりや散歩、買い物などを行い、地域全体で子どもたちを見守り、犯罪の抑止につなげようとする活動です。現在は、毎週水曜日を活動日に設定しており、市のホームページや広報紙で周知及び啓発を行っているとともに、新たに市公式Facebookでの広報を実施しています。 活動の更なる推進については、自治会等の御協力が不可欠と考えますが、一方で、活動の主旨は生活リズムの一部として、無理のない範囲で行っていただくことが前提となっていますので、住民に負担を強いることが無いよう、必要に応じて、個別、自治会等からも啓発を行っていただけますと、より効果的な実施に繋がっていくのではないかと考えます。活動時間時間の周知については、学校のカリキュラムの関係や広く周知すると犯罪等にも繋がりますので、代表の方に活動時間等を周知するよう検討していきます。 ③高齢者の方が、「地域子ども出迎えデー」に参加されることは、世代間交流や高齢者の方の生きがい、また、地域コミュニティの活性化につながるものと考えていますが、当該活動は、生活リズムの一部として無理のない範囲で行っていただくこととしています。市としても、今後も適切な周知・啓発活動を行っていますが、自治会等においても主旨にのっとり活動を推進していただきたいと考えます。	教育部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです
	千代川町自治会	【質問等】 小学校のグラウンドについて、町民運動会等を行うには、狭いことからグラウンドを大きくしてほしい。	大人のグラウンドを作る事にはならないかと思われます。学校用地であるグラウンドの面積について、増加はすぐには対応できるものではありませんが、要望としてお聞きします。	教育部長	⑤困難	こん談会時の回答のとおりです
	千代川町自治会	【質問等】 高齢者の安否確認等を地域全体に啓発するため、地域で住民同士の会話が增えるようなキャンペーン等を行ってほしい。	高齢者の安否確認については、引き続きできる事を探しながら、担当課と十分検討させていただきます。最近聞いた事例では高齢者同士でグループチャット等を行い、各々の安否状況の確認等を行っている聞いたことがあります。このような方法等も検討していきたいと考えています。	副市長 (健康福祉部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです

R6 地域こん談会まとめ

7	千代川町自治会	① R9号大成中学校前信号～千々川橋までの歩道拡幅について、高野林・小林土地区画整理事業に伴い、未整備区間について、説明会が実施され、国交省京都国道事務所において用地測量及び地権者協議を進めて頂いているが、現状の進捗状況はどうなっているか。 ② R9号千々川橋～JR千代川駅前交差点については、過去に2人の方が交通事故で亡くなられた危険な箇所であり、一部歩道が拡幅されている箇所もあるが、京都国道事務所において現況調査は実施済と聞いているが、整備計画はどのようになっているか。 ③ R9号JR千代川駅前交差点～千原交差点までの歩道整備(バリアフリー化)についても、現況調査は完了済と聞いているが、進捗状況は。	① 国道9号大成中学校前信号～千々川橋間の歩道整備状況については、道路管理者である京都国道事務所において、令和元年度から事業着手されています。令和5年度は用地幅杭設置測量、用地測量を実施され、令和6年度の計画としましては、物件調査を実施されると聞いています。 ② 国道9号千々川橋～JR千代川駅前交差点までの歩道整備状況については、京都国道事務所において、現況調査を完了されたと聞いています。しかし、現在は事業化されているところから順次整備されている状況であり、当該箇所については未だ進展はないと聞いています。 ③ 国道9号JR千代川駅前交差点～千原交差点間のバリアフリー化を目的とした歩道拡幅工事についても、同様に京都国道事務所において、現況調査を完了されましたが、同様に現在事業化されているところから順次整備されている状況であり、当該箇所については未だ進展はないと聞いています。 本市としては、まずは事業化されています国道9号大成中学校前信号～千々川橋間の歩道整備について、早期完成していただけるよう国交省へ要望していきいと考えています。	まちづくり推進部長	1,2,3:⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
その他意見等	千代川町自治会	国道9号線の西側道路川関小林線は法定速度30キロですが、標識や路面の記載が少ないため、子供の登校時間等にもスピードを出す車も多く、増やしていただけないか。	この道路を整備した際に、地元要望でパチンコ屋前後の路面に法定速度30キロの記載をして欲しい旨、要望がありましたが、既に多くの標識等がありましたので、その時の警察の判断で付けない事となった経緯があります。しかし、毎年1回、府民協働型インフラ事業にてこの道路の標識等についても警察へ要望等を行えますので、警察へ要望を行っていただけたらと思います。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
その他意見等	千代川町自治会	小学校の前の川関小林線は近隣のパチンコ屋方面からは侵入できないが、千代川駅今津線については、標識はなく、左右どちらからも侵入可能となっているため、児童が安全に登校等できるよう登校時間等については一方通行にできないのか。	整備した際に、一方通行にする等、協議をしましたが、近隣住民や学校の先生等の負担とならうよう、現状の道路となりました。しかしその時から月日が経っていますので、一方通行でないと安全が脅かされる等ご意見ありましたら府民協働型インフラ事業にて道路に対しての要望等を行えますので、警察へ要望を行っていただけたらと思います。なお、府民協働型インフラ事業の様式は4月当初に亀岡市から自治会へ送ります。 補助整備に係る通学路については、子どもたちが安全で安心して登校できるよう検討します。	まちづくり推進部長 教育部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。